

## 教員の意見とその対応

### ●評価法についての意見

#### 1) \*\*\*\*意見\*\*\*\*\*

評価基準について：人文学科では、評価基準そのものが時代の趨勢と共に大きく変化するので、適切な評価は長期的な総合的判断によるほかはない。したがって、短期間の評価以外に、中期・長期にわたる活動も評価できるような工夫が必要である。

#### \*\*\*\*対応\*\*\*\*\*

個人によって不公平にならないような評価法の構築が必要であり、そのためには個人の意見にも配慮して改善をしていくことを「教員個人評価実施要綱」は謳っています。部局でも改善を図っていただきますようお願いします。

#### 2) \*\*\*\*意見\*\*\*\*\*

- ・自己評価に関して、高めに評価する人と低めに評価する人が存在し、調整が難しい。
- ・評価は、評価を受ける側と実施する側との信頼関係が必要である。評価実施がほぼ義務化されている現在、評価する側は、信頼関係を築けるよう、最大限の努力を払う必要がある。また、現在のような自由形式で評価を行う場合、記述の仕方に個人差が出てしまう。この個人差をどのようにするのか、対応が必要である。評価は、教員が各自の能力をいかし意欲を持って業務を行うようにすることが目的であるので、大変ではあるが、そのような評価システムを構築していただきたい。

#### \*\*\*\*対応\*\*\*\*\*

個人で行う自己評価には個人差がでます。この差による個人の不利益が生じないような客観的評価を行う仕組みを現在各部局で創案中です。

#### 3) \*\*\*\*意見\*\*\*\*\*

自己点検評価を含めて、各種の「評価恐怖症」が蔓延しつつあり、個人・組織を含めて「元気の出る評価」のあり方が求められる。

#### \*\*\*\*対応\*\*\*\*\*

個人評価は教育研究の質の向上、個人の活性化、ひいては本学の発展のためのものであり、逆効果の不幸な”症状”が出ないように、評価を見直していかなければならないと考えています。

#### 4) \*\*\*\*意見\*\*\*\*\*

この結果を給与昇給率に反映させることに対して反対ではないが、大学に対する貢献、研究成果等は、この成果・業績結果だけでは推し量れないと思われる。いくら言っても業績としては評価してもらえない業務はやるだけ損であるという気がしてきている今日である。

**\*\*\*\*対応\*\*\*\***

評価が個人によって不利があってはなりません。アピールしたい業務を提示する個所として「(表2) 前年度の目標に対する成果・業績」があります。評価に不満があれば、部局等の長に対し申し出ることができることとなっています。

5) **\*\*\*\*意見\*\*\*\***

別に誰の責任でもないが、「自己評価」を書いていると自分の性格が悪くなっていくを感じる。やって当たり前のことをポジティブに書くのは引っかけを感じる。こういうところは実は、企業においても同様だ。日本人的謙虚さよりも、目に見える成果やそのポジティブな自己宣伝に労力を費やすことが評価につながるものが往々にしてある、というのは正しいことなのだろうか。営業部門のように数字で評価することが難しい領域が確かにあるので、このあたりを自分も評価者も「客観的」評価できるのかどうか。

**\*\*\*\*対応\*\*\*\***

自己を評価し次の活性化に繋げるのが評価の目的であり、そのような意識をもって評価に対応していただきたいと思います。

「客観的」評価については絶対的なものではなく、大学の場合特に難しいものと思われま。評価には適切な根拠資料をもって当たるよう各部局でも考慮されているものと思ひます。

**●評価項目についての意見**

**\*\*\*\*意見\*\*\*\***

入試の出題の厳正を確保するために、入試の作問については目標として入力しなかったが、本来は目標設定内の成果・業績として扱われるべき業績である。

**\*\*\*\*対応\*\*\*\***

作問と採点の委員は管理・運営の領域における重要業務です。「教員個人評価票WEB入力システム」に掲載されている「平成18年度教員個人評価票(自己評価)記入解説」を参照ください。

**●自己点検の意義についての意見**

**\*\*\*\*意見\*\*\*\***

愛媛大学着任5年目を迎え、愛媛大学の組織人としての対応が多くの面で可能になったが、まだ自己改善の余地があると実感している。そのことを確認できたのが、この個人評価システムである。なお、研究活動については、『農学部紀要』の巻末に添付される「愛媛大学農学部研究業績目録」で、毎年、確認することができ、また、授業評価については、共通教育や農学部で実施される授業評価アンケートを参考に授業改善ができ、個別的に自己点検を進めてきた。

このシステムにより、改めてトータルにチェックできたことは有益であった。昨今の社会状況、大学を取り巻く環境を考慮すれば、こうした取り組みは今後、さらに重要性を持つと思う。ただ、このシステムが適正に管理・運用されることを望みたい。

**\*\*\*\*対応\*\*\*\***

第一義的に個人評価は自己の反省と改善・活性化を図るものです。その点をご理解いただき個人評価（自己評価）に対応いただいているものと拝察され良かったかと存じます。評価体制や評価の仕組みなど、運用と管理については常に慎重でなければなりません。

●評価の利用についての意見

**\*\*\*\*意見\*\*\*\***

評価結果の利用について：評価の基準に関しては部局ごとの特性に配慮し、かつ実態に即したものにしながら、総合評点の数値データが有する意味を、きちんと分析・解釈していかなければならない。数値データを機械的に人事制度に反映させたり、大学運営に利用することは慎むべきである。

**\*\*\*\*対応\*\*\*\***

人事制度への反映については、今後慎重に検討が行われる予定です。